



海辺・川辺調査レポート

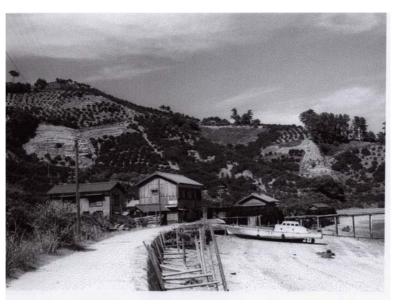
■ 名 前(ふりがな)	能田 誠通
■ グループ名	
■ 学校名	中島町立中島東小学校
■ 学 年	3年
■ 年 齢	9歳
■ お手伝いしていただ いた方の名前	能田尚幸(父)

で- あ	父さんとぼくのアミアゲ・ビーチ ぼくは瀬戸内海の中にぽつんとうかぶ島に住んでいる小学校3年生 す。島のまわりは全部海なので、ぼくたちの町の学校には、プールが りません。そのため、ぼくたちの学校は平成8年に整備された「ふれ
で - あ	す。島のまわりは全部海なので、ぼくたちの町の学校には、プールが
内容 内容 内での広にたってのです。	いだりしています。ぼくのお父さんに聞いてみると、小学校のときにこで体育の授業をしたり、水泳検定をしたりしたそうです。むかしの写真を見てみると、今とはだいぶ様子が違っています。昔は、みたいなものが見へとつづいています。お父さんに聞いてみると、そは真珠を養殖するいかだにつづくさん橋でした。砂浜には真珠貝の貝がたくさん落ちていて、どこでも泳ぐことができたそうです。今もむかしと同じように砂浜が長くつづいています。でもむかしと今砂浜はちがうそうです。今の砂浜は、砂をたくさんよそから運んでき埋め立ててつくった人工の砂浜なのだそうです。ぼくは、自然のまま砂浜だと思っていたのでびっくりしました。埋め立てをして、道路をげたり、キャンプ場をつくったり、シャワー施設をつくったりしまし。毎年8月の終りには、トライアスロンに出場する選手たちがここでャンプをしています。ここの前の道路は、ランのコースなので、選手家族たちが応援をします。埋め立てでせまい道路から広い道路に変わて、トライアスロンをする選手にとっても、車を運転する人にとって安心して走ることができるようになりました。埋め立てた今でも、むかしと同じように海はきれいで、ぜったいよそ海には負けません。しかし、ここにいた魚や貝の仲間は住むところが

なくなったのが残念です。

ぼくの町では、今、砂浜の埋め立て工事が行われていますが、これ以上埋め立てをしてほしくはありません。だから、ぼくは便利でなくても美しい砂浜を少しでもむかしのままで残してほしいので、砂浜をきれいにする「かんかんウォーク」などのボランティアをつづけていきたいと思います。

むかしの様子



●愛媛県温泉郡中島町大浦 村上節太郎撮影 愛媛県温泉郡中島町教育委員会提供

今の様子



